



# THE LETTER 宇都宮東教室

第13号 「安心感」

発刊日 2025年12月2日

文責 熊澤洋一

師走に入りました。大学受験のほうでは「指定校入試合格」の声もチラチラ聞こえてきますが。栃木の高校入試は基本的には「1月4日」が受験シーズンの開幕です。間もなく。

頑張っている受験生を横目に、「直接は何もできない」、「もやもやしているだけ」の保護者様の立場は、同じ思いで過ごしてきた経験上理解できます。「親の心子知らず」が現実ですが、送迎・食事の用意、普段通りの生活を送っているだけでも十分に「間接的に応援している」と思います。また、テストの成績が上がった下がったで一喜一憂しても、何も解決しないので「どーんと構えるしかない」ですね。ここ数年、特に夏以降はナーバスになり、体調不良を訴える受験生が多いのも事実です。保護者様の「大丈夫だよ」という包容力ある一言だけでお子様は安心できます。「大丈夫?、本当に大丈夫?」は、寄り添っているように見えても、「一緒に不安になっている」にすぎない時もあります。

何があっても、どんな結果も「すべてを受け止めて」あればお子様も「安心」して勉強できます。そして、最後の最後でメンタルを支えられるのは保護者様だけです。友達、先生、先輩後輩、兄弟姉妹、祖父母…誰のどんな言葉より、保護者様の「頑張れ」にはかないません、「重み」が違います。多くを語る必要もないでの直前期や、ここ一番でお声かけしてみてください。いつかお子様から「ありがとうございます」の一言をもらえます。結果に関係なく、それだけで「感動」するし「救われた」気になれます。しかし、お子様の前では毅然とふるまつても、大人だって「不安な気持ち」になる時はあると思います。その際、「保護者様の不安」は塾に相談されてください。